

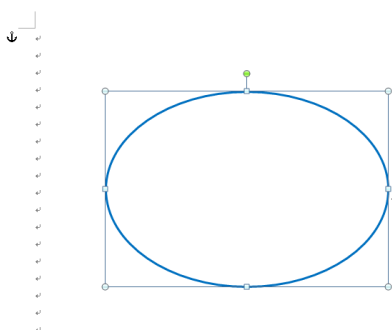
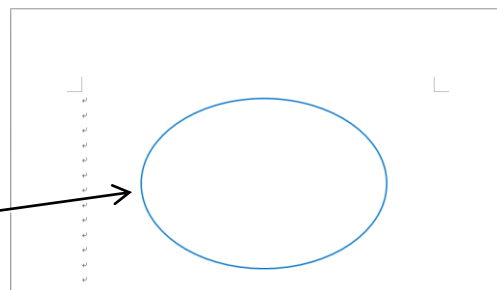
## 変形テキストボックスを作る

ワードでは、テキストボックスの形は、四角にかぎられています。「図のリンク貼り付け」機能を使って、自由な形のテキストボックスを作ってみましょう。

### 1. 楕円形のテキストボックス

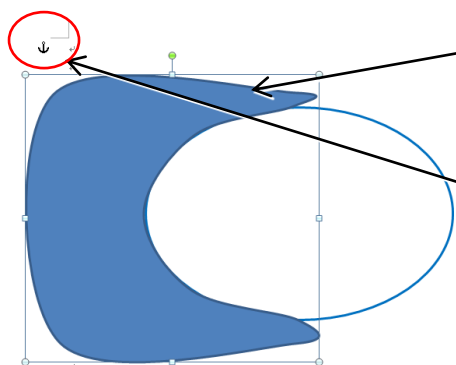
①ワードで2つの新規文書を開き、それぞれ改行をいくつか入力後、「リンク元」「リンク先」という名前をつけて保存します。

②「リンク先」のほうに楕円を描き、塗りつぶしなし、枠線は青に設定します。



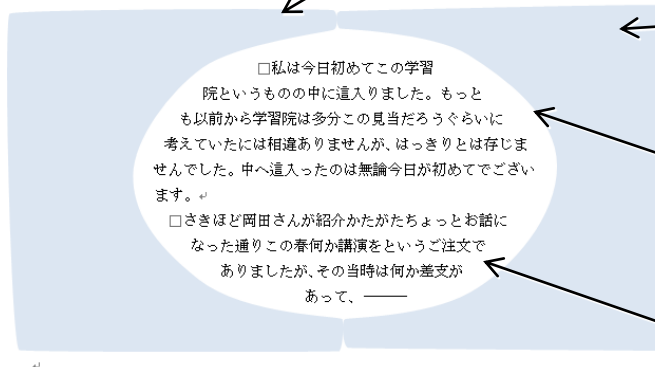
③②を、「リンク元」にコピー。

④「リンク元」の楕円左半分を包むように、曲線で図形を描きます。左側は、文字入力領域より左側にはみ出すこと。



⑤アンカーは、図形の上部1行目か2行目あたりに配置します。

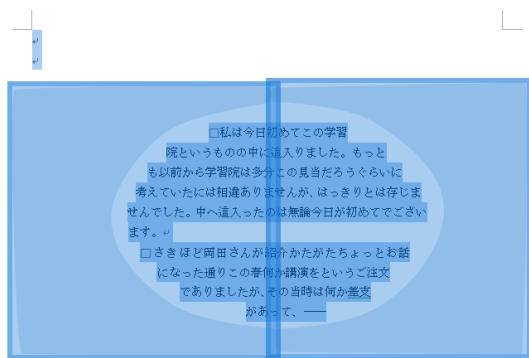
⑥右クリック→「頂点の編集」で、形を整えます。



⑦同様に、右側も作成。  
枠線なし、塗りつぶしは薄い色に。  
「文字列の折り返し」を「外周」に。

⑧楕円を選択して削除します。  
※「ホーム」タブ→「選択」→「オブジェクトの選択と表示」を出すと、選択しやすい。

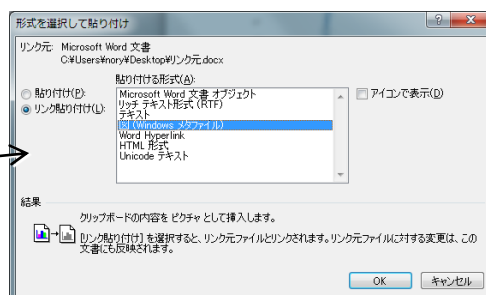
⑨適当に、文章を入力してみましょう。



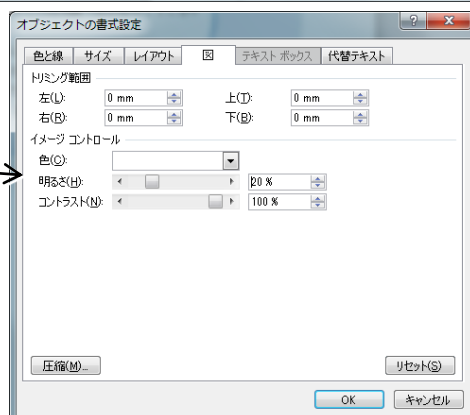
⑨アンカーのある行から、文字入力した行までを選択→コピー。

⑩「リンク先」に移動し、「貼り付け」のオプション→「形式を選択して貼り付け」で…

「リンク貼り付け」「図 (Windows メタファイル)」として貼り付けます。

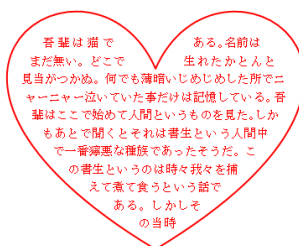
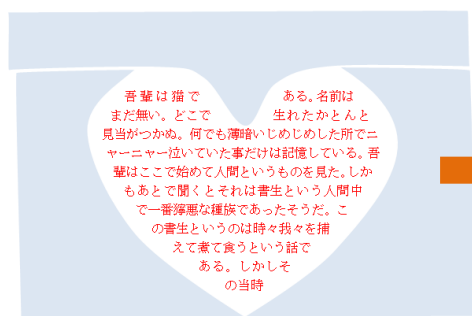
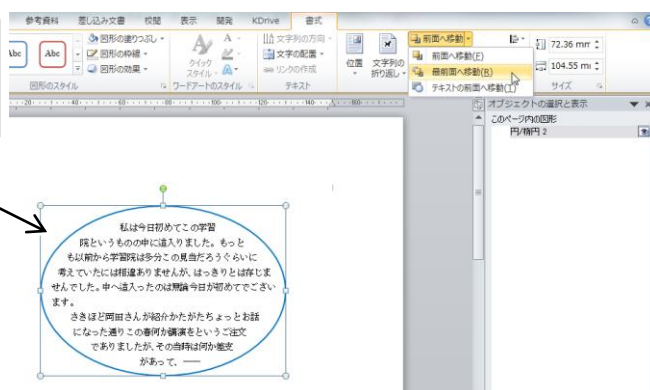


⑪⑩で貼り付けた図を右クリック→「オブジェクトの書式設定」で…  
「明るさ」を 20%程度に、「コントラスト」を 100%に設定します。



これで、濃い色 (文字) のみ表示されるようになります。

⑫最初の楕円を選択して、「最前面へ移動」して位置調整すれば、できあがり。



〔練習1〕「リンク元」の文章に、色をつけたり、フォントの種類を変えたりしてみましょう。

〔練習2〕左図のように、ハート型のテキストボックスを作ってみましょう。  
曲線図形は、3つ必要です。